

「人権教育は幸せづくり」香川県で泊まり合い人権教育研修会

第41回「黒潮町泊まり合い人権教育研修会」が、8月10・11日に香川県丸亀市と高松市で行われ、黒潮町に在住・勤務している37人が参加しました。

1日目の香川人権研究所では、所長の喜岡淳さんの案内で人権啓発展示室を見学。また、喜岡さんから香川県の同和問題の現状や取り組みについて講演していただき、参加者からは「人権教育は人が幸せになること」という言葉がとんでも印象的だった」との感想も。その後の班別会では、同和問題との出会いや、差別の現実について語り合い、理解を深めました。2日目の午前は、ユニバーサル



丸亀市の香川人権研究所。展示室には同和問題の資料をはじめ、ユニバーサルデザインの製品を体験するコーナーも。

デザインを意識しながらJR高松駅を散策。点状ブロックの上から流れる音声案内や、人工肛門装着者（オストメイト）が利用できるトイレの設備など、新たな気づきが多くありました。

午後は、ハンセン病回復者が暮らす国立療養所「大島青松園」に船で渡り、島内の施設を見学。入所者自治会長・森和男さんの講話では、ハンセン病患者の生活や、偏見差別の実態など、生きた体験を聴くことができました。

今回の研修ではフィールドワークを多く取り入れ、実際に見て触れて感じることができました。

(人権啓発係)



高松港からフェリーで約30分で大島青松園に到着。当時の生活の品などを見て、大島の空気を肌で感じることができました。

HELLO! 新・旧ALTからのメッセージ SEE YOU!



Avril 

こんにちは。あたしはアヴリル・ターヴェイと申します。ニュージーランドのネーピアからきました。にほんははじめてです。くろしおちゃんのしぜんはとてもきれいです。みなさんはしんせつでやさしいです。このいちねんかんはたのしみです。どうぞよろしくおながいします。

皆さんこんにちは！マシュー・マクレーンと申します。マットと呼んでください。黒潮町に住んで1年になりました。これまでにたくさん良い体験をしたり親切な人に出会えたので、本当に今年も楽しみです。学校の先生たちと子どもたちのお陰で今までの授業はとても楽しかったです。今年もよろしくお願いいたします！



Matthew 

8月に新しいALTとしてアヴリルがニュージーランドからやってきました。1年間の任期を終えたローラは、ニュージーランドへ帰国。9月からは2年目のマシュー（カナダ出身）とアヴリルが町内の小中学校を担当します。

※メッセージは3人とも日本語で書いてくれました！



Laura  田の口小学校にて

黒潮町子どもたちといっしょにべんきょうするのはとてもたのしかったです。みんなといっしょにうんどうかいやえんそくとかにできることができてうれしかったです。黒潮町では、うみと川でおよげるし、山がみえるし、みどりがおおいし、おいしいたべものがたくさんあるし、とてもすばらしいばしょでした。いつか黒潮町にもどりたいとおもいます。ほんとうにありがとうございます。みんなげんきでね。またあいましょう！